

学校だより 朝日町立宮宿小学校 校長 鈴木 浩司



かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」

令和6年
11月15日
No.14



HPアクセスQRコード

創立150周年 おめでとう！

今年度、宮宿小学校創立150周年を迎えました。11月6日に町長様をはじめ、たくさんのご来賓の方々にお越しいただき、記念式典を行いました。

式典は、2部制で、第2部は子どもたちが中心になって進めてくれました。5年生による豊年太鼓の演奏や6年生がこれまで学んできた宮宿小学校の歴史をクイズにしながら、みんなで学校のことをより知ろうという発表、そして児童会歌「明日に向かって」を手話付きで歌うなど、とても温かみのある式典になりました。

式典での校長式辞を掲載します。（一部略しています）

本校の始まりは150年前の明治7年。宮宿学校として、福昌寺に生まれました。その後、何度か学校名が変わり、昭和29年に、町村合併で朝日町が誕生したことにより、朝日町立宮宿小学校となりました。そして、昭和32年には、校章や校歌が制定され、平成14年に水本小、平成15年に上郷小、送橋小、平成20年に和合小と統合し、今の宮宿小に至ります。

明治、大正、昭和、平成、そして令和と5つの時代の変遷とともに歩んできました。卒業台帳を見てみたところ、令和5年度までに3821名の卒業生を送り出してきたことがわかりました。創立150周年を迎えるにあたり、輝かしい校風を築き、宮宿小学校の子供たちの教育のために努力してこられた先輩方、そして地域の皆様に深く敬意を表したいと思います。そして、150年の記念すべき年をみなさんと一緒にお祝いできることを心から嬉しく思います。

さて、本校の学校教育目標は「ふるさとを誇りに、未来をしなやかに生き抜く宮小っ子」です。みなさんがこれから生きていく未来とは、どんなものでしょうか。最近よく耳にするのが、「予測困難な時代」という言葉です。これまでのやり方や常識が通用しない、この先、どうなるのか誰もわからない。はっきりとした正解がないような様々な問題、課題にぶつかり、出会うことが予想される時代です。

そんな時代を生き抜いていくために、みなさんが身に付けなくてはならない必要な力とはどんなものでしょうか。困難にぶつかった時、誰かが、何かをしてくれるのを待っているのでは、もうどうにもならなくなるかもしれません。目の前の問題、課題を自分事として向き合い、受け止め、自分の力で、時には自分とは考えの違う人とも力を合わせて、答えを見つけていく。そんな力が求められてくるのだと思います。

その力を身に付けていくためにも、日々のくらしの中で出会う課題を自分事として考え、自分たちのくらしは自分たちでつくるという意識を今以上にもってほしいと願っています。

学校は、先生たちは、みなさんが安心してチャレンジしていけるよう、環境を整え、そして支えています。

宮宿小学校としての学校生活は、あと3年と5カ月ほどです。宮宿小学校150年の歴史や伝統を誇りに思い、よりよいくらしをみんなで創っていきましょう。



歴史クイズ「2番だと思ふ人～」



宮小の歴史をクイズで学ぼう！



児童会歌「明日に向かって」手話付きで歌う



5年生 大活躍！ 見事な太鼓の演奏を披露！！

11月1日の朝日町町制施行70周年記念式典、3日の朝日町芸術文化祭、6日の本校150周年記念式典と立て続けに出番があった5年生。宮小伝統の豊年太鼓の演奏をしてくれました。

6年生から叩き方や心構えなどを教えてもらい、それからたくさんの時間をかけて練習してきた成果をしっかりと見せてくれたと思います。演奏するたびに、どんどん上手になっている5年生です。



朝日町町制施行70周年記念式典



朝日町町芸術文化祭

